
・連結中期経営計画重点施策

1. グループ競争力の強化

2. グループ総合力の発揮

3. グループ経営体制の整備

1. グループ競争力の強化

鉄道競争力の維持

生活関連事業の育成

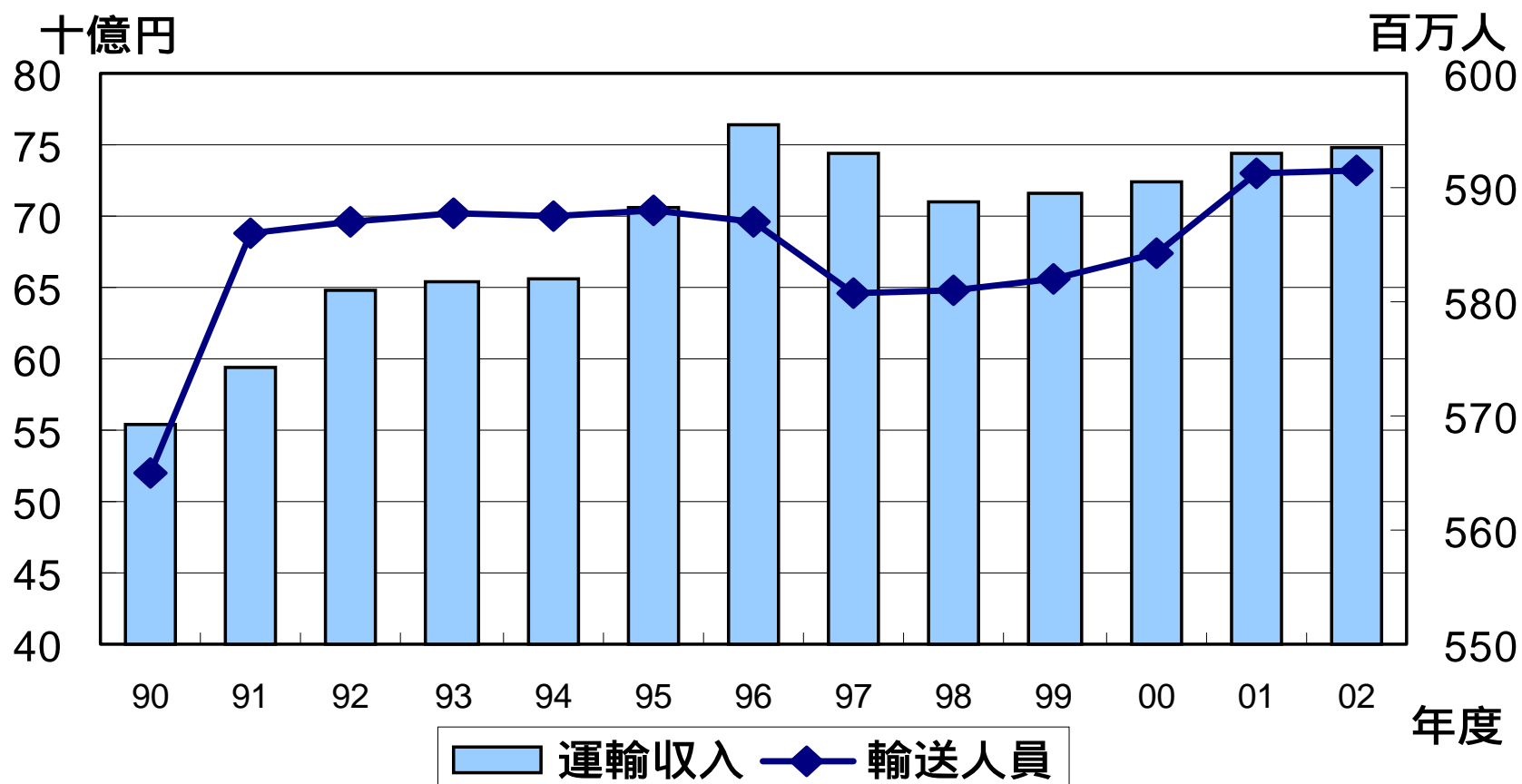
グループ事業別管理

優良賃貸資産の取得の検討

さらなる財務体質の強化

鉄道競争力の維持

< 鉄道輸送人員と旅客運輸収入の推移 > **5期連続の対前年増**



鉄道競争力の維持 < 続き >

保安度向上

ホーム安全対策

サービス向上

バリアフリー化を標準仕様と捉える

大規模改良工事の推進

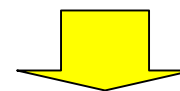
調布駅付近連続立体化

久我山、高幡不動駅改良

安全運行

安定運行

安心運行



「信頼のトップブランド」

鉄道競争力の維持 < 続き >

< 新宿 ~ 八王子 >

会社名	運賃	所要時分
京王	350円	34分
JR東日本	460円	37分

< 新宿 ~ 多摩センター >

会社名	運賃	所要時分
京王	330円	26分
小田急	380円	34分

< 渋谷 ~ 吉祥寺 >

会社名	運賃	所要時分
京王	190円	16分
JR東日本	210円	19分

乗り換え時間を含まない日中最短時分

生活関連事業の育成

京王ストア（「キッチンコート」を含む）

本年5月 神楽坂に2号店オープン

近隣型SC等3ヵ年で4店舗を展開

カレーショップ“C&C”
ベーカリーショップ“ルパ”
啓文堂書店



キッチンコート(神楽坂店)

生活関連事業の育成 < 続き >

< 京王プレッソイン >

1号店(東銀座)の客室稼働率が好調

開業以来の稼働率が90%を超える

チェーン展開の状況

・都区内への進出加速

2002年2月

東銀座オープン

2003年6月

2号店神田オープン

2004年春(予定)

3号店池袋東口オープン

2005年度末までに10店舗



プレッソイン神田

グループ事業別管理

< 変更後 >

不動産業



新宿追分ビル

流通業



京王百貨店ビル

資産効率
の重視

レジャー・サービス業



京王プラザホテル

グループ事業別管理 < 続き >

賃貸資産の使用セグメントへの分類

[不動産業]		[レジャー・サービス業]	
受取賃料(グループ内)	100	売上(外部)	110
諸経費(外部)	70	支払賃料(グループ内)	100
営業利益	30	営業利益	10
資産	1,000	資産	250
ROA	3.0%	ROA	4.0%

(2002年度から変更)

セグメント情報の適正化

資産効率の重視

[レジャー・サービス業]	
売上(外部)	110
諸経費(外部)	70
営業利益	40
資産	1,250
ROA	3.2%

優良賃貸資産の取得の検討

『京王品川ビル』

(2004年2月 竣工予定)

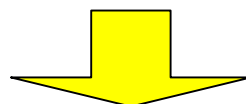


京王品川ビル
完成予想図

さらなる財務体質の強化

EBITDA倍率の向上

	2002年度 (実績)	2005年度 (目標)
有利子負債 / EBITDA	3.5倍	3.2倍
有利子負債	2,198億円	2,200億円
償却前営業利益 (EBITDA)	633億円	680億円



今後3カ年で1,460億円の投資を行いながら EBITDA倍率を向上

2. グループ総合力の発揮

グループカード戦略の展開

鉄道を持つ強みを活かした事業展開の検討

沿線ブロードバンド環境の整備とIT活用による事業領域の拡大

グループカード戦略の展開

- ・グループ全体の顧客拡大
- ・グループシナジーの発揮
- ・グループ顧客情報の活用
- ・ICカードへの対応

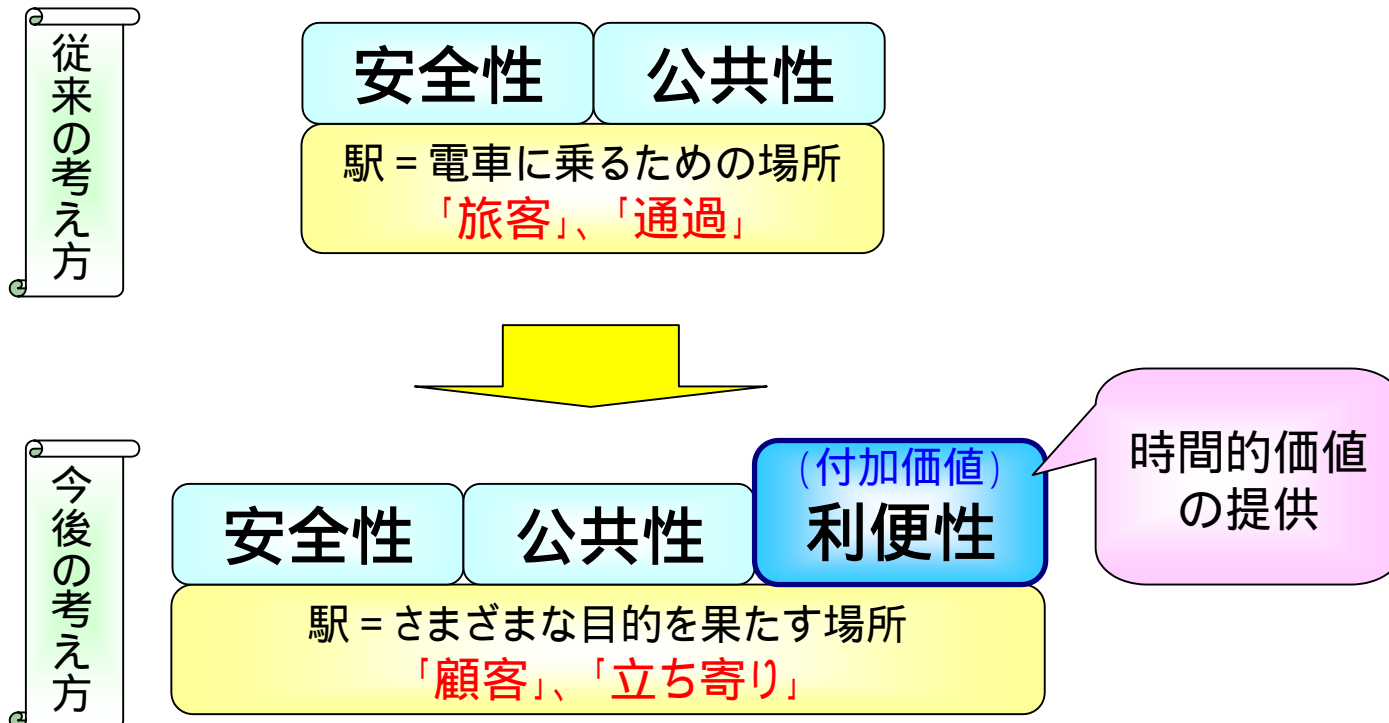
会員 1 0 0 万人体制を目指します！



鉄道を持つ強みを活かした事業展開の検討

駅の将来構想の策定

- ・現状の駅の延長線上ではなく、ゼロベースで駅ビジネスを創出する
- ・キーワードは「時間価値の提供(タイムリーかつクイックなサービス)」

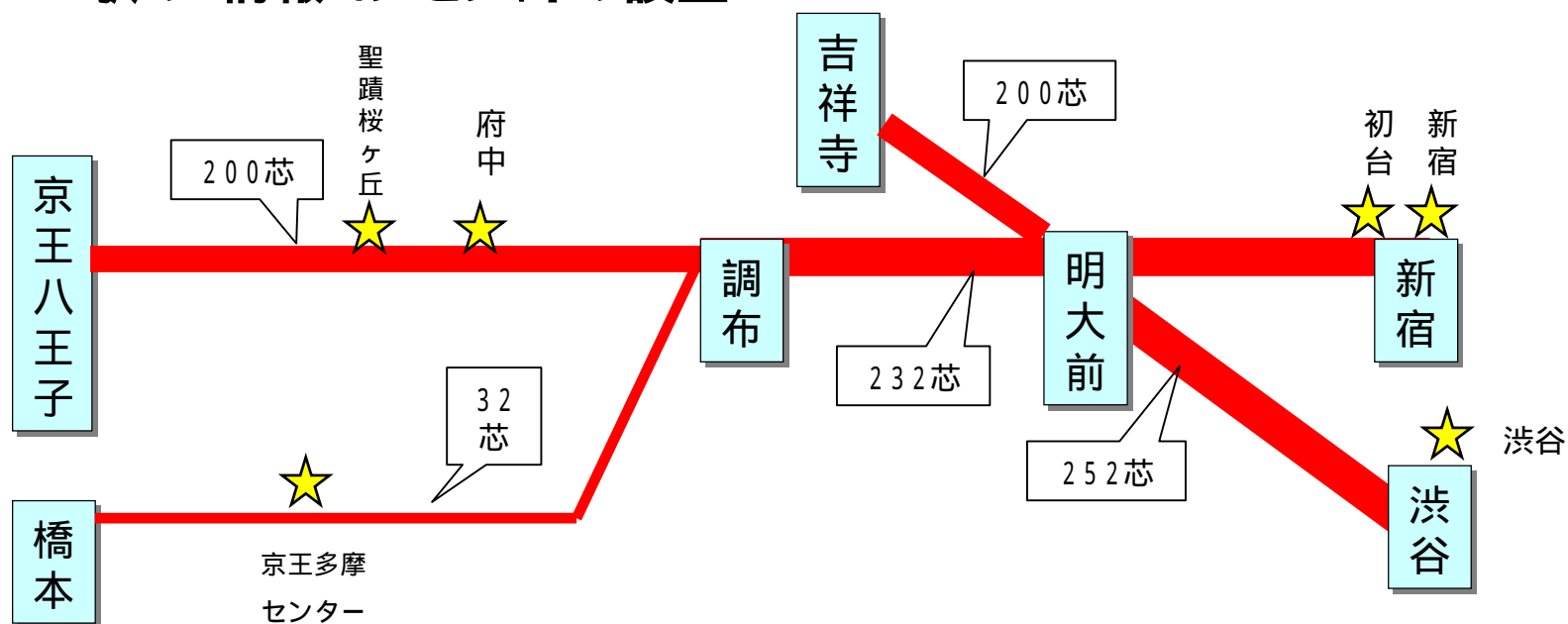


沿線ブロードバンド環境の整備とIT活用による事業領域の拡大

光ケーブルの敷設

沿線内での光ファイバーケーブルの敷設、増強

駅の「情報コンセント」の設置



2002年度末敷設状況

★ は情報コンセント設置駅

3. グループ経営体制の整備

グループ本社機能の確立

グループITの構築

グループにおけるSSCの推進

グループ本社機能の確立

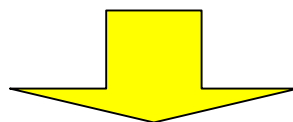
各組織機能のミッションの明確化

	グループ本社機能	事業機能	SSC
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ本社 (電鉄本社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業、開発事業 ・百貨店、ストア ・観光、京王プラザ ・電鉄バス など 	<ul style="list-style-type: none"> ・京王アカウンティング ・京王ビジネスサポート ・京王情報システム
ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ価値の最大化 ・グループ会社監査 ・グループ会社支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客価値の最大化を通じた事業価値の最大化 ・上記を目的とした商品、サービス開発、マーケティング 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ共通機能の強化、効率化

グループ本社機能の確立 < 続き >

セグメント別支援体制の強化

流通戦略プロジェクトチームの編成



商圏調査、物件選定等の重点取り組み体制を整備

グループITの構築

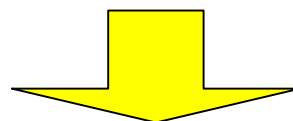
グループ通信網の整備・運用
 全社統合システム導入の検討



グループにおけるSSCの推進

会社名	設立	内容	受託会社数
京王アカウントینگ	2000年6月	経理・財務	15社
京王ビジネスサポート	2001年6月	人事・厚生	7社
京王情報システム	2002年6月	情報システム	31社

(受託会社数は2002年度末現在)



グループ全社受託を目指す